



統計局と一緒に働きませんか？

統計局事業所情報管理課
事業所母集団データベース調整係

宮田 真波 MIYATA Manami

平成25年 4月 入省
統計局総務課支給係
平成27年 4月 大臣官房会計課
平成29年 4月 統計局統計作成支援課
事業所母集団データベース管理調整係
平成31年 4月 現職

Q 総務省統計局に決めた理由

「統計への興味」

統計調査については、入省するまで、テレビや新聞等の媒体でランキング等の出典に明記されているものという認識しかなかったのですが、官庁訪問で、統計局の業務説明を受け、調査結果は自分が想像していたよりも、国民生活、行政全般のより幅広い分野で活用されているということを知り、自分もそれに携わってみたいと考えたため志望しました。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

「事業所・企業情報のデータベース」

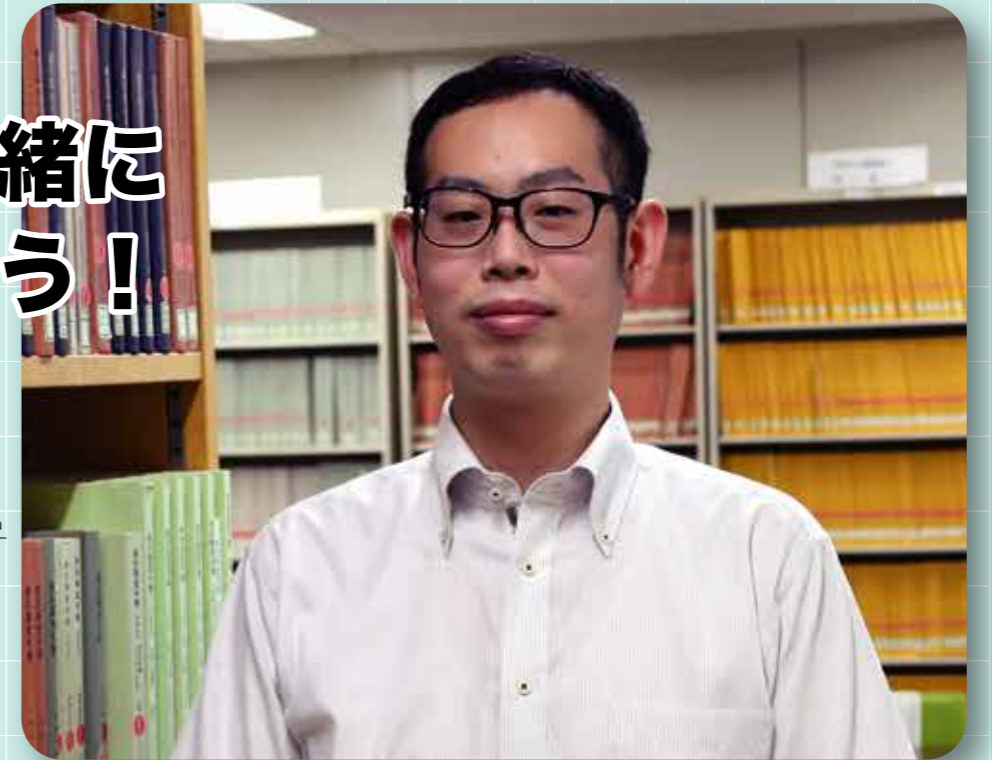
採用時から4年間は、給与の支払いに関する業務をしていました。5年目以降は、事業所・企業を対象とした統計調査の名簿の基となる「事業所母集団データベース」の整備・運営に関する業務をしています。具体的には、経済センサス等の各種統計調査の結果のデータベースへの反映や、各種統計調査等の名簿情報の提供のため各府省、地方公共団体と調整を行っています。



Q 皆さんへのメッセージ

「統計局へ来てみてください！」

統計の知識がなくても、職場で上司や先輩から教わることができます。また、統計に関する様々な研修もあり、仕事をしながら新しい知識を身につけていくことができます。統計に少しでも興味がある方は、是非一度官庁訪問に来てみてください。



統計局と一緒に働きましょう！

統計局統計調査部
消費統計課企画指導係

山本 亮太 YAMAMOTO Ryota

平成26年 4月 入省
統計局統計調査部調査企画課地理情報室
小地域加工統計係
平成27年 9月 同 統計地図係
平成29年 4月 同 地理情報システム管理係
平成30年 4月 統計局統計調査部国勢統計課調査区係
令和 2年 4月 同 指導係
令和 3年 4月 現職

Q 総務省統計局に決めた理由

「明るい雰囲気 of 統計局！」

正直、官庁訪問に参加するまで総務省統計局がどんな業務を行っているのか全く知りませんでした。そんな私でしたが、実際に官庁訪問に参加して2つの衝撃を受けました。1つ目はあらゆる場所で活用される「統計行政の奥深さ」、2つ目は「職員の方々の明るい雰囲気」です。私は公務員を志望したときから、40年という公務員人生、働くならばいい雰囲気の職場で!と考えていたため、職員の方々の雰囲気の良さが決め手となり、総務省統計局で働くことを決めました。

Q 仕事の魅力とやりがい

「全員で前を向いて乗り越えていく！」

私は『令和2年国勢調査』を担当していました。新型コロナウイルスという誰も経験したことのない状況の中で、『どうすれば調査が実施できるのか』の検討を続けました。その結果、100年という国勢調査の長い歴史を途絶えさせることなく、無事調査を終えることができました。これは、都道府県・市区町村の担当者様方の努力、指導員・調査員、世帯の皆様のご理解ご協力があったおかげです。担当者が諦めず前を向き続けていた結果です。どんな事態が起きても、全員で力を合わせて前を向いて乗り越えていける、そんな職員達が集まっていることが統計局の魅力です。

Q 皆さんへのメッセージ

「統計局はあなたを待っています!!」

働く前から、「Excelは完璧です!VBAも使えます!」、「高校(専門学校)で統計結果を使った分析をしていました!」という人は一握りで、ほとんどの人は入省してから覚えていますし、覚えられる環境です。興味を持っていただけたなら一度官庁訪問に参加して、統計局の雰囲気を感じてください。そして、一緒に働きましょう!統計局はあなたを待っています!

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

「家計調査の結果は幅広く利用されています！」

私は現在、消費統計課企画指導係で「家計調査」という統計調査に携わっています。家計調査は全国約9000世帯を対象に、6ヶ月間(単身世帯は3ヶ月間)毎世家計簿を記入してもらい、家計の収入・支出、貯蓄・負債などを調査しています。家計調査の結果は景気動向の把握や生活保護基準の検討に加え、地方公共団体や民間の会社、研究所など幅広く利用されています。そんな家計調査は標本調査とよばれており、5年に1度実施される国勢調査の結果に基づいて標本の改正を行います。この標本改正と呼ばれる仕事が現在の私のメインの仕事になります。

